

子育て支援センター ・ 子育て世代包括支援センター「おひさま」

妊娠期から子育て期にわたるまでの包括 的なサポートの中心となることを目指し ます。



子育て支援センター

<所 在 地> 東筑摩郡筑北村西条4220番地

<TEL> 0263-66-2975 <FAX> 0263-66-2988

<MAIL> kosodate,c@vill,chikuhoku,lg,jp

筑北ひまわり保育園

<所 在 地>東筑摩郡筑北村坂北2305番地

<TEL> 0263-66-2043

<FAX> 0263-66-2123 <MAIL> himawari@vill.chikuhoku.lg.ip

坂井保育園

〈所 在 地〉 東筑摩郡筑北村坂井5882番地

<TEL> 0263-67-2153

<FAX> 0263-67-1403 <MAIL> i,hoiku@viil,chikuhoku,lg,jp

〒399-7711 長野県東筑摩郡筑北村坂井5687番地2 TEL: 0263-67-1161 FAX: 0263-67-2170

E-mail: kyouiku@vill.chikuhoku.lg.ip





〜豊かな自然の中で遊ぶ、さまざまな人と関わって遊ぶ、 "ちくほくやまほいく"で心も体もたくましく育つ〜

プラン策定の趣旨

平成29年に告示された幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領では、それぞれの施設の3歳から5歳にあたる部分の共通化が図られ、どの施設も日本の大切な教育施設として位置づけられました。

そこで、筑北村教育委員会では、平成31年度から「幼児期教育・保育推進検討委員会」を設置し、審議を通して生涯にわたる人格形成の基礎を培うとともに、「学びの入口」としても重要な乳幼児期の教育・保育について、就学期への連続性・一貫性という視点も踏まえながら、筑北村教育の基本理念である「未来を切り拓く心豊かなたくましい人間の育成」につながる、具体的な基本指針等を立案しました。

家庭、地域社会、子育て支援センター、保育園、小学校、中学校、村行政が、共通認識・共通目標のもとで一丸となって、乳幼児期の教育・保育を推進することができ、その後の学童期・青年期の伸びやかな発達・成長につながる礎を着実に築くことを目指します。

また、「オール筑北」で子どもを育てていくことが、本村の文化として根付き、筑北村が"幼児 教育を大切にする村、として発展していくことを願い本プランを策定しました。

プランの計画期間及び点検・評価

要領・指針の期間が概ね10年間であることを踏まえ、本プランの計画期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間とします。一方で、「第二次教育大綱」や「子ども支援プロジェクト」、「筑北村子ども・子育て支援事業」の計画期間が4から5年間であることから、5年経過時点でそれまでの取り組み内容などを反映するための改訂を行います。

【坂井保育園園目標】

自立心

自然大好き坂井っ子

~さがそう:自然の宝物・かかわろう伝えよう:異年齢 や地域と・いっぱいあそぼう:五感を使って感じよう~

建康な心と体

筑北村二保育園

こどもが まんなか 【筑北ひまわり保育園園目標】 気持ちと言葉のキャッチボール ~ 伝えてみよう・話してみよう

一人一人の個性を

大切にした保育

聞いてみよう・一緒につながろう ~

恵まれた自然環境"ちくほくやまほいく"で生きる力を育む

遊びを通して学 びを深める保育

自然と友だち「坂井保育園」「筑北ひまわり保育園」

「遊びが学び」・2園の特色を生かした交流保育

- ・地域の方と田畑づくり、伝承遊び、郷土食づくり、収穫体験
- (お米、野菜、太鼓、わらべうた、おやき、やしょうま、りんご、ぶどう、わらび)
- ・園とつながる山と川 (もんじゅ山、おかめ山、安坂川、どんぐり、くり、さわがに、はや、かわにな)
- ・園の周りの生き物 (カナヘビ、イモリ、バッタ、カタツムリ、カマキリ、カブトムシ、カエル)

子ども達は写真のような豊かな自然環境と温かな地域の人の中で、見守られて成長していきます。 好奇心・探求心を大切に、主体的な遊びを通して"人生の根っこ"を育み、小学校へつなぎます。





道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

子ども達の育ちを生かしたつながり

未就園児 小学生 中学生

保・小・中一貫性 のある教育 地域の温かい人とのつながり

保護者 応援団 地域の方



豊かな感性と表現